

研究実施のお知らせ

2025年11月12日 ver.1.0

研究課題名

成人心臓血管外科手術における橈骨-大腿動脈圧較差と周術期乳酸動態の関連
後向き観察研究

研究の対象となる方

2011年9月から2025年10月の間に島根大学医学部附属病院で人工心肺装置を使用し
心臓手術を受けられた方

研究の目的・意義

この研究の目的は、成人心臓手術で人工心肺を使用した際、手術終了後に観察される「橈骨-大腿動脈圧較差(RFPG)」という血圧の差が、手術後の乳酸の動き(乳酸の増加や減少)とどのように関連するかを調べることです。また、RFPG と乳酸の関係がどのように現れるかを評価し、その影響が一貫して見られるかどうかを確認します。

この研究の意義は、RFPG が手術後の血流状態を反映する新しい指標として有用であるかを検証する点にあります。もし RFPG が簡単に測定でき、乳酸の変動と関連があることがわかれば、手術後の早期に血流の状態を把握するための有力な手段になる可能性があります。これにより、より適切な治療や早期の対応が可能になり、患者さんの予後改善につながるかもしれません。

研究の方法

対象になる方のカルテから以下のデータを収集します。

1. 患者背景(年齢、性別、身長、体重、併存症・既往歴、術前内服薬、ASA-PS)
2. 周術期に関する情報
 - (1) 術前
 - 1 血液検査(総ビリルビン、ヘモグロビン、クレアチニン、eGFR、アルブミン、PT-INR)
 - 2 生理検査(心エコー)
 - 3 画像検査(CT、レントゲン)
 - (2) 術中(病名、術式、手術日時、予定・緊急、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、循環停止時間、ルートの種類および部位、動脈血圧、中心静脈血圧、心拍出量、心係数、動脈血酸素飽和度、混合静脈血酸素飽和度、組織酸素飽和度、体温、投与薬の種類および投与量、輸液輸血の種類および投与量、尿量、出血量、血液ガス(ヘモグロビン値・乳酸値)、経食道心エコー、補助循環装置の使用有無)
 - (3) 術後(ICU 入退室時間、血液ガス(乳酸値)、輸液輸血の種類および投与量、尿量、出血量、人工呼吸期間、院内死亡の有無、再手術の有無および原因)

以上の情報を用いて、橈骨-大腿動脈圧較差と乳酸の変動との関連を調べます。

この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報個人が特定できる形で使用することはありません。また、お名前などのリストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管し

ます。外部への持ち出しは行いません。

研究の期間

2025年12月(研究許可後)～2030年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 松尾 輝政

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 松尾 輝政

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

電話 0853-20-2295